



# もうすぐ田植え時期



ビニールハウスの中で毎日換気や水やりをしながら育てます。左が3/26、右が4/6頃に種を蒔いた苗です。



3/26に種籾を蒔いた苗。本葉が2~3枚出て稚苗と呼ばれる段階です。田植えをするのに良い頃を迎えます。



4/6頃に種籾を蒔いた苗。約1週間で一斉に芽吹き、育苗箱が緑色のじゅうたんのようになっています。

## ★稲苗、すくすく育っています

野菜の苗がすくすく育って、次々と植え時を迎えています。高柳場長の所では先週はキュウリの苗を植えました。今週はミニトマトの苗を植える適期を迎えました。

「ミニトマト、ナス、かぼちゃと次々に育っているし、稲の苗も育っている。まあ、今の時期はどの苗にとっても生育するのに一番良い時期だな」

そして、これからいよいよ田植えの時期に入ります。夏野菜は1~2時間で一気に植えられますが、田んぼは何しろ50力所以上あり、1回では植えられません。また、種は土を敷き詰めた育苗箱に蒔くのですが、1,300枚分も必要です。種籾1粒1粒を手で蒔いているわけにはいかないので、機械で一斉に蒔いてハウスで育苗します。同時に、植え付ける田んぼの準備もします。

この時期、昔はどの家も田んぼで忙しかつたのですが、今は田んぼに出ている人はまばらで、耕作放棄地もあるのが現状です。

「10年ほど前は、この時期には各家から人が出て賑やかな光景だったんだけどな。この地は千年以上の歴史があるんだよ。千年も前に田んぼを切り開き、安住の地とするために努力を積み上げてきた先人の苦勞を思うと、これでいいのか、と思うよ」

田んぼを止めていく人から毎年のように高柳場長の所に依頼が来て、去年は10枚も田んぼが増えたそうです。「まあ田んぼをやっている人は、みんな採算度外視のボランティアだな(笑)」と言いながら、今年も夏野菜と田んぼが重なる超多忙なシーズンに突入します。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

## 【産地情報】

◎小松菜はしばらくお休みです。出荷再開は28日(土)からを予定しています。